KADOKAWA

KADOKAWAグループの ESGの取組みサマリ

株式会社KADOKAWA

KADOKAWAグループのESGの取組みサマリ

Environment

温室効果ガス（GHG）の排出削減

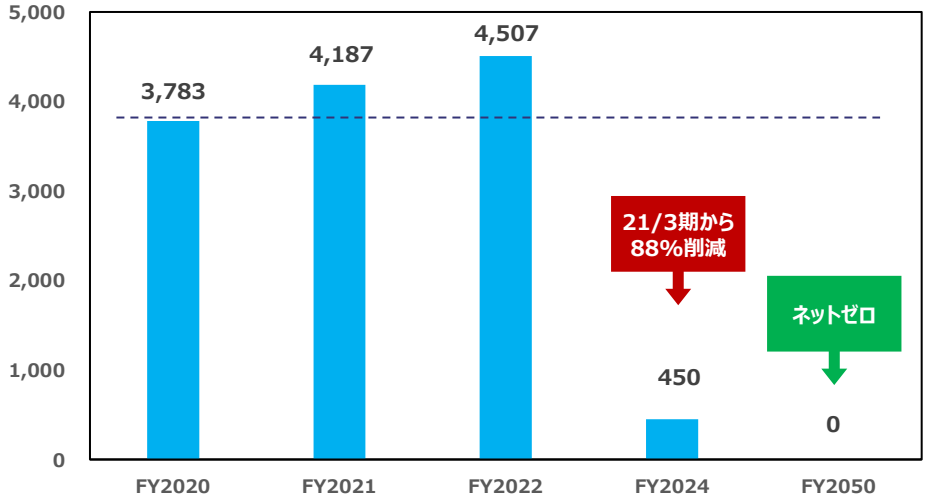
◆ 温室効果ガス排出量50%削減目標（2030年度）を2025年3月期に達成見込み

➢ 自社保有社屋の電力(2023年12月切り替え予定)を実質的に再生可能エネルギーからなる電力に切り替え、25/3期には88%削減を達成見込み

➢ 将来的にグループ全体で実質ゼロの実現を目指す

▶KADOKAWA GHG排出量の推移と目標

CO_2排出量（t-co_2）※調整後排出係数による試算

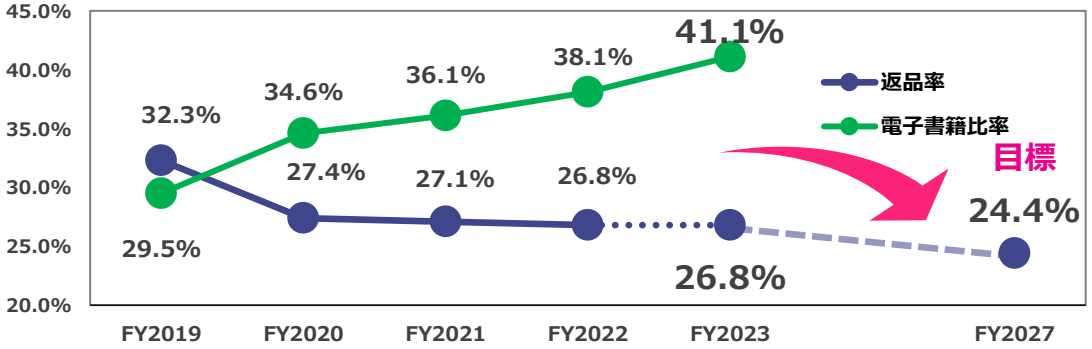


紙の余剰消費削減

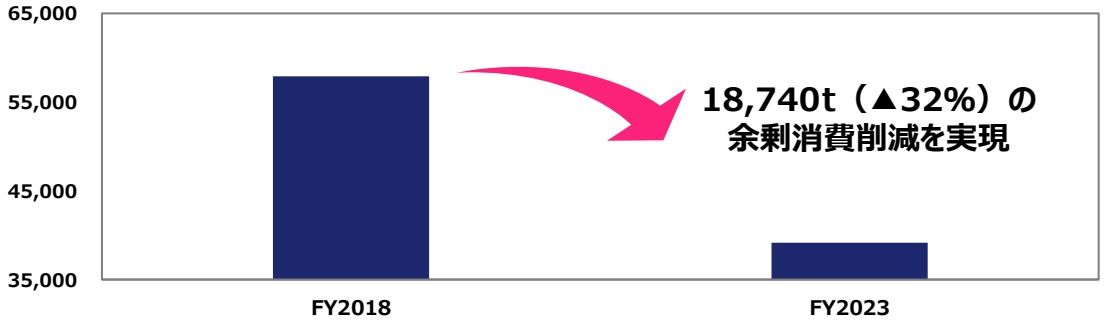
◆ 紙書籍事業における紙資源の余剰消費を削減

➢ 当社グループの返品率は継続的な改善トレンド

➢ 出版セグメントにおける電子書籍売上高比率も上昇中



➢ 紙資源余剰消費の大幅な削減を実現（t）

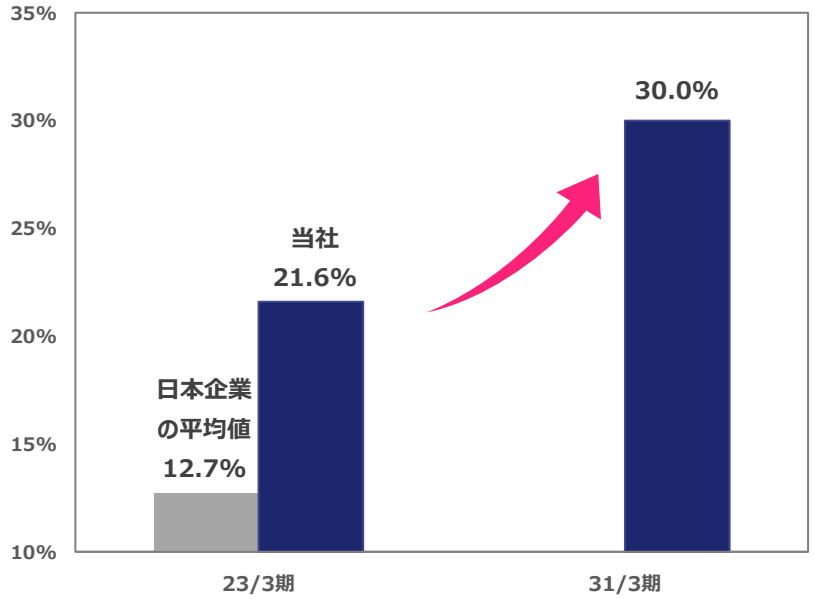


KADOKAWAグループのESGの取組みサマリ

Social

従業員の多様性、創造性の促進

- ◆ グループ従業員の多様性を促進
  - ➢ KADOKAWAグループは女性従業員が44.3%を占める
  - ➢ 2031年3月期までに女性管理職比率のさらなる拡大を目指す

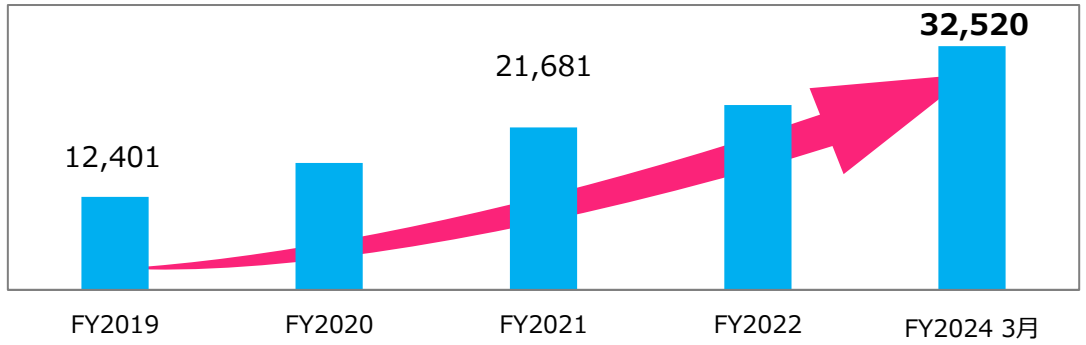


- ◆ 多様な働き方を実現する環境の整備

平等でクリエイティブな教育環境の提供

- ◆ 様々な生徒に実践的な教育機会を平等に提供
  - ➢ N/S高では、オンライン教育を中心として、日本全国の高校生に対し平等に教育機会を提供。生徒数32,520名は日本の高校として最大

N/S高等学校 生徒数の推移　単位：人



- ◆ エンターテインメント業界で活躍が期待される専門人材も育成・輩出し、産業の発展に貢献。当社グループでの活躍も期待

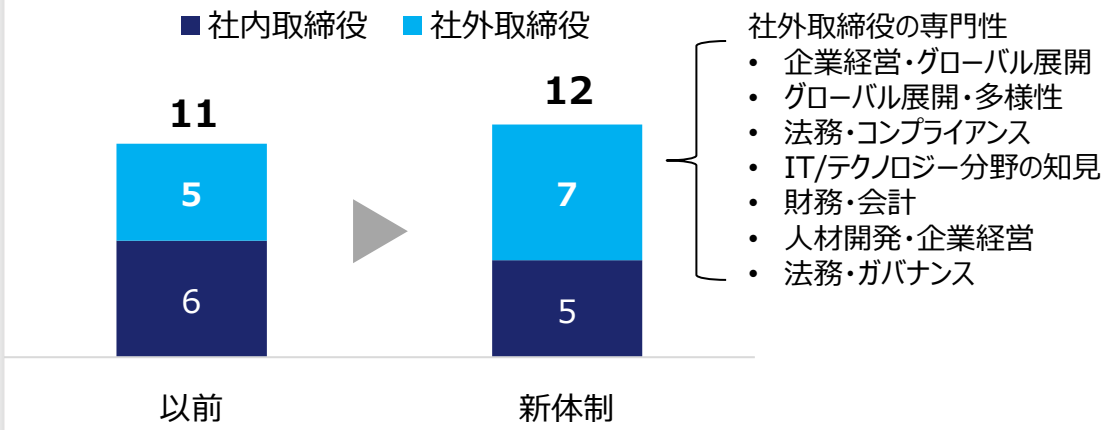


KADOKAWAグループのESGの取組みサマリ

Governance

経営の監督・執行の分離

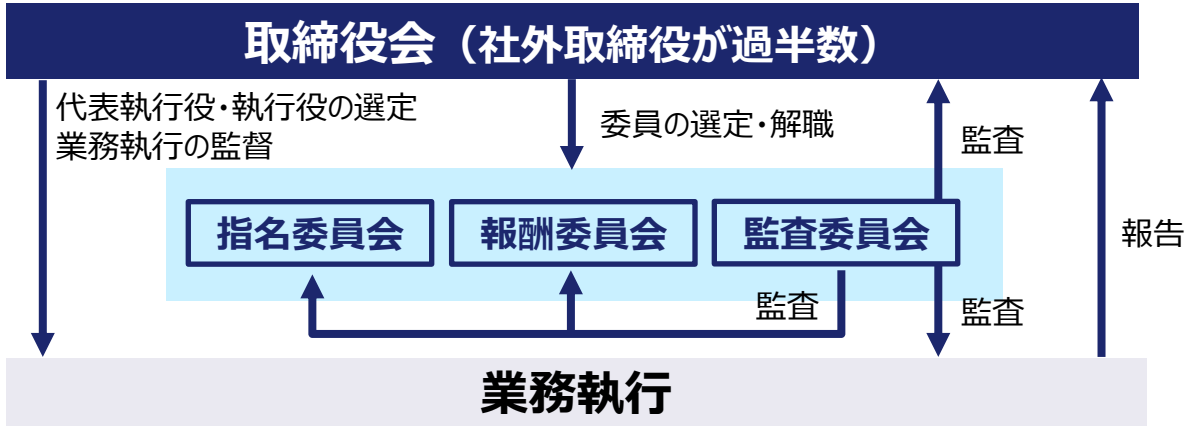
◆ 取締役会12名における社外取締役の構成は7名



◆ 取締役会議長を社外取締役から選任

◆ ガバナンス強化のため監査等委員会設置会社から指名委員会等設置会社へ移行

➢ 新たに指名委員会・報酬委員会・監査委員会を設置する体制へ移行、各委員会のメンバーは過半数を社外取締役に委嘱



◆ 政策保有株式の縮減

➢ 上場株式の保有銘柄数、対純資産比率は減少傾向

➢ 今後も縮減を進める

